

R4. 2. 3

総合まちづくり部会報告

1. 寺池公園 水辺が眺められる空間づくりについて
2. 金剛中央公園の再編について
3. 金剛中央公園・寺池公園・ふれあい大通りを活かした
再生まちづくり推進協議会について

寺池公園での親睦・交流会

R2.11.1 寺池台五丁目



R2.11.15 寺池台一丁目



水辺に背を向けた店構え



水辺に背を向けて座る人達



R3.8.7 第1回寺ヶ池水利組合 & 金剛地区 共同除草清掃活動

参加者21名：水利組合10名、金剛地区10名、富田林市1名



■8/7水利組合 現地打ち合わせ

- ①水利組合としての本来業務としていく。
- ②取組み内容について地域から提案頂きたい。
- ③安全確保のため、
公園門柱を撤去願いたい。
- ④見回り等で釣り人等に注意喚起願いたい。

水利組合 & 金剛地区 今後の取り組み内容（案）

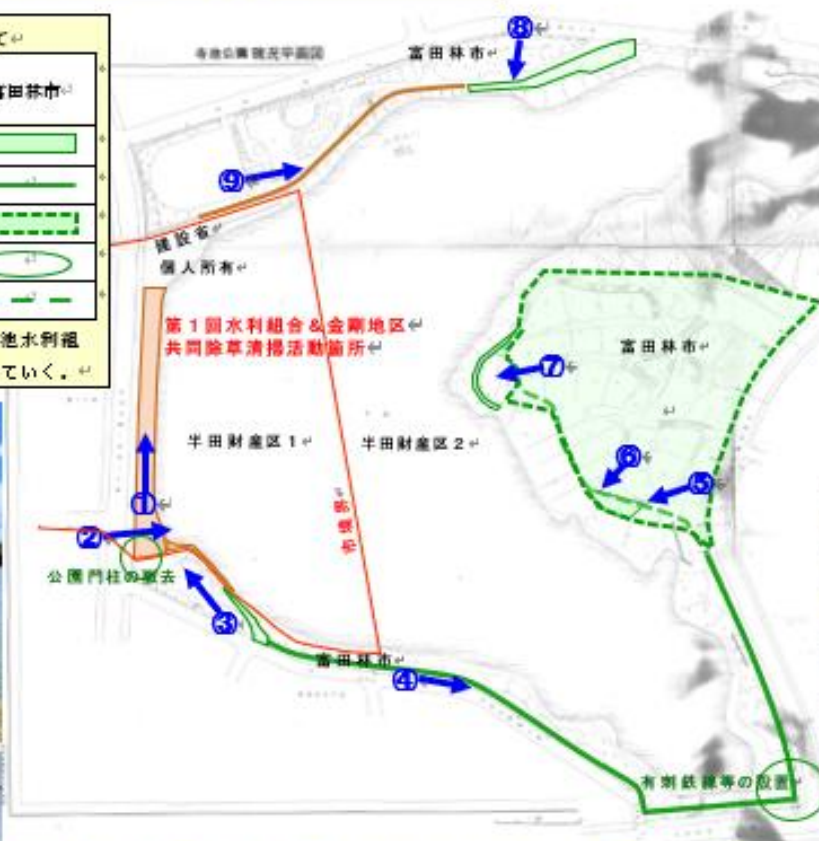
■今後の取り組み内容(案)

- ①五丁目公園側 水利組合門扉内の除草・清掃（年3回程度：6月、9月、2月等）
- ②比較的広い個所における地域でのフェンス際の除草・清掃、間伐による眺望の確保
- ③侵入頻発箇所における有刺鉄線設置、間伐による見通しの確保、安全・防犯性の向上
- ④水辺が眺められる空間におけるパラソルカフェ、燈籠まつり等の開催
- ⑤中長期構想の検討（安全対策の充実、桜の植替え、周回路の整備等）

■金剛地区の取り組みと管理区分（協議主体）について

管理区分（協議主体）	寺ヶ池水利組合	富田林市
取り組み事項		
除草・伐木・除根・清掃	①	②
眺望の確保（伐木）	③	④
安全性・防犯性の向上（間伐）	⑤	⑥
安全対策（有刺鉄線設置等）	⑦	⑧
周回路の検討（道普請）	⑨	⑩

○周回路整備等については、安全確保を第一に寺ヶ池水利組合、大阪狭山市、富田林市と協議し、計画を策定していく。



11/20 水辺が眺められる空間づくり

美化清掃前



美化清掃前



美化清掃状況



美化清掃状況



水辺が持つ本来の力(求心力)を活かす

**『水辺の力』を寺池全体に拡げ、
金剛地区再生へと繋げて行きましょう**



12/5 寺ヶ池水利組合総会（回答）

1. 金剛地区からの取組み提案については了解。
2. ①②③について、水利組合として金剛地区と共同で取り組む。
3. ③については、何処まで出来るか、実施しながら判断する。
4. 来年は、2/13（日）、6/5（日）、9/11（日）に実施する。
5. 他の箇所において、水利組合の管理にある草木について刈ることは了解。富田林市と協議しながら進めてもらえば良い。
6. ⑨については、水利組合の管理責任も生じる。
柵の中に入って刈る場合には、併せて、釣り人等の侵入対策を検討する必要がある。このため、事前に相談いただきたい。

**先ず、お花見の季節までに、寺池台五丁目側①②③と、
寺池台一丁目側⑧⑨の象徴的な場所で企画・実施し、
皆さま一緒に、お花見をしましょう。**

事業資金の確保 & 推進体制の整備

令和4年 お花見に向けた取組み（案）

1. 2/13水利組合 & 金剛地区（三角公園側）活動

- ①整備範囲：実施しながら活動範囲を確定
- ②活動項目：蔦等の伐木、集草・処分、安全対策

2. 北公園（花見までにポイント的に水辺が見えるように）

- ①整備箇所：寺池台一丁会と現場立ち合いの上、決定
- ②活動項目：間伐、除草・集草・処分、安全対策

3. 湖畔広場（通行止お花見＋里山散策）

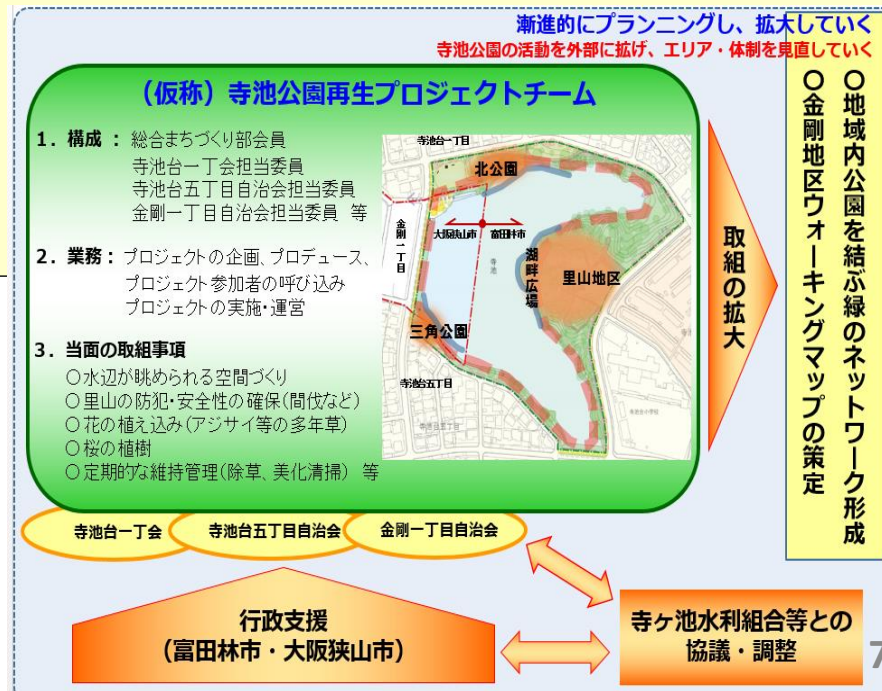
- ①注意喚起看板の設置
- ②美化清掃活動
- ③さくらの植樹（R4冬、小学校連携）

■活動資金確保（補助金申請）

①まちづくり初動期活動

サポート助成（府外郭団体）

②市助成金活用



金剛中央公園の再編について

【市の取り組みと課題】

○R3 施設等再整備基本構想の策定

⇒ R4年に何を行うのか、行動計画の議論・計画的な活動が必要

○R4 スポーツホールの建替え検討

⇒ 公園の利活用をよく考え、空間と一体的な建築計画であるべき

○施設・空間の計画・整備に併せ、愛着心・人材を育む仕組みが必要

⇒ 子どもから大人まで多くの方が関わるプログラムを組み込むべき

○各主体が個別バラバラに取り組み、相乗効果が得られていない

⇒ 主体の力を束ね、相乗効果を発現する方向でコーディネートすべき

茨木市 市民会館跡地エリア整備計画
(公園に対して開放的な建築計画)



芝生広場づくり

市民会館跡地エリア
育てる広場プロジェクト



木製ベンチづくり

金剛中央公園の再編について

総合スポーツ棟配置案

(図はイメージであり、形態・規模・距離・高低などは厳密なものではありません)

202112

北西に建設する案 ①現状地形の大幅な造成無しで建物の南側に日当たりのよい広場をつくれます ②エントランス棟に近く歩行者の行き来が現在とあまり変わらない ③現在南側歩道から建物の陰になり公園がよく見えないが全体が見えようになります ④車でアクセスも短くなります。 ⑤新旧建物の建設と撤去が別個にできるため工期、利用中断期間を短くできます



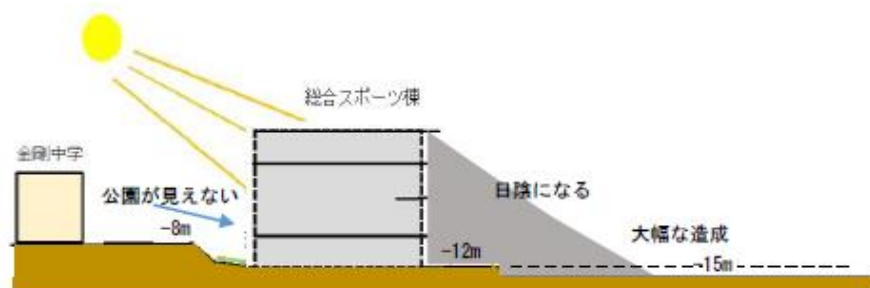
現況建替え案



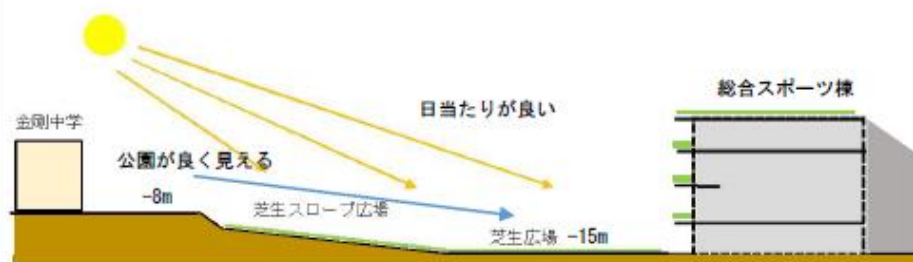
北西案の金剛中学からみたイメージ



北西案



現況建替え案 YY断面イメージ



北西案 YY断面イメージ

総合まちづくり部会の R4年取り組み

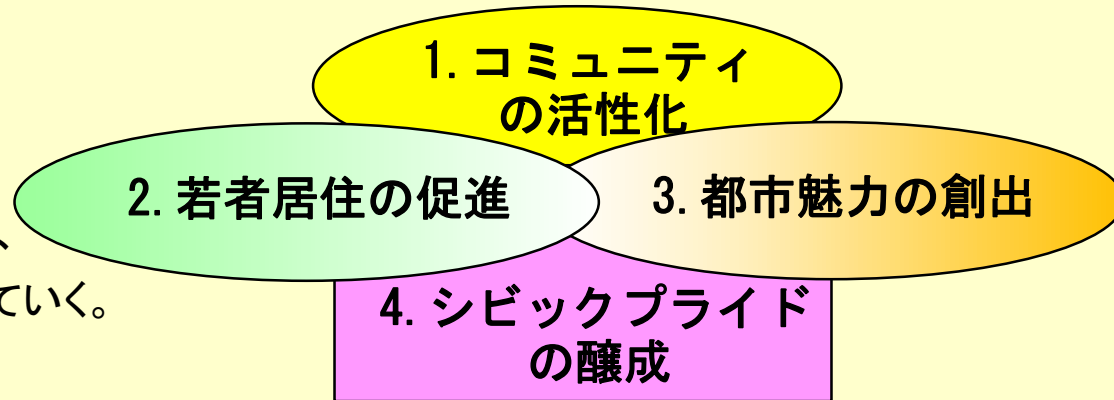
2020.5 総合まちづくり部会

何のために行っているのか目標を見失わないよう、
下記整備目標は常に意識しておく

■ 整備目標

金剛地区の魅力・利便性を高め、
若い世代が住み続け、移り住みたく思え、
かつ、老若男女・社会的弱者全ての方が、
安心して豊かに暮らせる都市へと再生していく。

このため、右4点に取り組む。



R4年の取り組み姿勢

- ①人が表に出ない街では賑わいは生まれない。人が表に出る街を如何に創るか
⇒高齢者から子供まで地域の多くの方々の関わりを増やす方策を練る。
- ②取組みが拡大するとマンパワーが不足する。行動できる人材を如何に増やすか
⇒連携の機会を創り、協力者を増やし、実践をとおしてリーダーを育てる。

このため、プロジェクトを起こし、人材を集め共同で企画・運営していく。

目的-1：子供から大人まで多くの方が関わる機会を創る。

目的-2：地域の方が親しみ喜んで利用する施設・空間・配置を検証する。

目的-3：社会実験の企画・運営を通して担い手（リーダー）を育てる。

金剛中央公園・寺池公園・ふれあい大通りを活かした 再生まちづくり推進協議会

【目的】

金剛中央公園・寺池公園・ふれあい大通りを中心としたエリアにおいて、
地域住民、地域活動団体等が一体となって、これらが有する空間的な魅力を活かして、

- ①コミュニティの醸成やまちづくり担い手の参画を促進するとともに、
- ②快適で居心地のよい空間と交流機会を創出し、
- ③ひいては、金剛地区全体の魅力・文化の向上、金剛地区の再生に繋げていく。

(仮称) 金剛中央公園・寺池公園・ふれあい大通りを活かした 再生まちづくり推進協議会

1. 構成：正会員

目的に賛同し、目的を達成するための取組を自主的に行う地域住民（各自治会担当委員、
総合まちづくり部会員等）、地域活動団体、民間事業者等

協力会員

本活動を支援する地域活動団体、民間事業者、大学、個人、行政、施設管理者等

2. 活動：①エリアの将来像の取りまとめに関する活動

- ②将来像を実現するために必要となる空間の創出に関する活動
- ③施設・空間等の快適性・安全性・防犯性の向上に関する活動
- ④コミュニティの醸成に関する活動
- ⑤上記活動に係るPR・広報に関する活動
- ⑥その他目的の達成のために必要な活動

各自治会員

プロジェクトに応じて漸進的に拡大

行政支援・連携

施設管理者協議・調整・連携

R4 プロジェクト検討（議論材料）

■目的-1:子供から大人まで多くの方が関わる機会の創出

【例】○くつろげる芝生広場づくり、グラウンドゴルフヤードの良質化

○木製ベンチづくり、ペットツリーづくり

○倉庫のペインティング



■目的-2：地域の方が親しみ喜んで利用する施設・空間・配置の検証

【例】○快適な木陰空間づくり、地形を活かした芝生滑り台、仮設プール

○広いウッドデッキテラス、パラソル、パーゴラ等の設置

○コンテンツ提供（ワゴンショップ、キッチンカー、モルック等）

■活動にあたっての予算の確保

○「官民連携まちなか再生推進事業」の活用（国土交通省 都市局）

エリアプラットフォームの構築、将来ビジョン等の新規策定